

議会だより

就任のご挨拶



第58代副議長
長谷川 満



第58代議長
杉浦 誠一

市民の皆様には、平素より市議会に対し、深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

私たち両名は、昨年松戸市議会十二月定例会におきまして議長、副議長に就任いたしました。

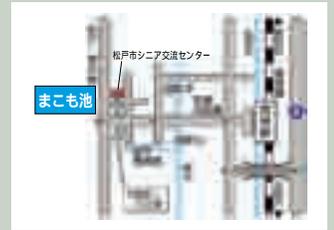
さて、地方分権により国と地方の役割分担が制度上明確になり、平成十八年には地方の自主性・自律性を拡大することを目的に地方自治法の一部が改正され、議会の権限が強化されたところで、本市議会もこのような行政運営の変化に的確に対応し、議会本来の役割を果たすために必要な改革を推進して行かなければなりません。このようななか、地域住民の代表として議会のあり方をあらためて考え、議会機能の充実、議会の活性化を図る必要があるとの考えから、平成十九年十二月定例会において、松戸市議会活性化委員会が設置されたところです。

本年、松戸市は市制施行六十五周年を迎えます。記念の年にあたり、私たち市議会議員一同は、社会・経済情勢の変化に的確に対応し、地域の実情に即した社会の構築に努めてまいりたい所存ですので、今後とも市民の皆様の一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



まこも池(別名、主水池とも呼ばれ、釣りも出来る池です)

振り返ると、江戸川(サイクリングロード)です。



12月定例会

平成19年12月定例会は、12月5日から20日までの会期で開催されました。

今定例会では、市長より提出された議案や、市民から提出された請願・陳情が各常任委員会で審査されました。

最終日には、これらの案件のほか、追加議案や議員提出議案が提出され、採決されました。

(4ページに審議結果を掲載)

なお、市政に関する一般質問は、議員32人が行いました。

常任委員会等

- 各常任委員会等の委員長、副委員長が新たに就任しました。
- 総務財務常任委員会 委員長 桜井 秀三 副委員長 渡辺美喜子
- 都市整備常任委員会 委員長 山口 栄作 副委員長 森下 彰司
- 健康福祉常任委員会 委員長 諸角 由美 副委員長 末松 裕人
- 議会運営委員会 委員長 張替 勝雄
- 教育経済常任委員会 委員長 石川 龍之 副委員長 城所 正美
- 広報委員会 委員長 城所 正美 副委員長 杉山 由祥
- 副委員長 洪谷 剛士

主な内容

- P2.....議案の概要
- P2-4.....市政に関する一般質問
- P4.....審議結果、決議、人事案件
意見書提出、編集の窓 ほか

5日	本会議 議案の上程
6日・7日・10日・11日	本会議 提案理由の説明
6日・7日	本会議 市政に関する一般質問
12日	本会議 市政に関する一般質問 議案、請願・陳情を各常任委員会に付託
13日	常任委員会 総務財務常任委員会
14日	常任委員会 健康福祉常任委員会
17日	常任委員会 教育経済常任委員会
18日	常任委員会 都市整備常任委員会
20日	本会議 議案、請願・陳情の採決 追加議案の上程、採決 議員提出議案の上程、採決

本会議の様子は、松戸市のホームページからご覧いただけます。
インターネット放映アクセス件数8万2,551件
(平成17年6月開設から19年12月末まで)

本会議のインターネット放映

12月定例会に提案された議案の概要です

市一般会計補正予算(第三回)
 既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ6,332万2千円を追加し、予算の総額を1,28億2,858万5千円とする。前年度繰越金及び国庫支出金を財源として、成田新高速鉄道建設事業の一部前倒しを国・県と協同補助するため、補助金を増額措置とする。
議案第27号 平成19年度松戸市一般会計補正予算(第三回)
 既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ6,332万2千円を追加し、予算の総額を1,28億2,858万5千円とする。前年度繰越金及び国庫支出金を財源として、成田新高速鉄道建設事業の一部前倒しを国・県と協同補助するため、補助金を増額措置とする。
議案第28号 平成19年度松戸市国民健康保険特別会計補正予算(第一回)
 高齢者の医療の確保に関する法律の施行に基づく条例改正に関連する経費を含め、平成20年4月施行に備え、準備経費について措置する。
議案第29号 松戸市平和基金条例の一部を改正する条例の制定について
 平和基金を処分して、平和事業に要する経費の財源に充てることと、基金の設置目的に沿った寄附金の積立等を行う。
議案第30号 松戸市手数料条例の一部を改正する条例の制定について
 国土交通省から移管を受けた街区基準点測量成果等の写しの交付事務を開始するに当たり、当該写しの交付手数料を定める。
議案第31号 松戸市立中学校設置条例の一部を改正する条例の制定について
 市立中学校の通止規模及び通止配置を確保する。
議案第32号 松戸市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
 国民健康保険法の改正に伴い、3歳以上の義務教育就学前の児童及び70歳以上の一般所得者の一部負担金の割合を変更するとともに、特別徴収における保険料の徴収額の特例を定める。

議案第33号 松戸市自転車競走実施条例の一部を改正する条例の制定について
 自転車競技法の改正に伴い、競輪の実施事務を委託することと、自転車の引取手の変更することと、同法の引用条項の移動による改正をする。
議案第34号 松戸市道路占用料条例の一部を改正する条例の制定について
 郵政事業の民営化に伴い、郵便ポストに係る用品料を定める。
議案第35号 松戸市中高層建築物等の建築に係る紛争の予防及び調整に関する条例の制定について
 中高層建築物等に関する計画の事前公開、紛争に係るあっせん及び調整に関する手続等を制度化し、建築紛争の予防と適正な解決に資する。
議案第36号 松戸市営住宅設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 入居者の生活の安全と平穩を確保するため、入居資格者及び明渡し請求の要件の追加等を行うとともに、併せて入居者の選考及び決定方法の見直しをする。
議案第37号 松戸市における宅地開発事業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 市街化調整区域における土地利用の現状をふまえ、市街化調整区域における開発行為に関する立地基準を追加する。
議案第38号 松戸市下水道条例の一部を改正する条例の制定について
 下水道指定工事店の指定手続、責務等を定めるとともに、排水設備等に係る改修命令等に関する規定を設けることにより、公共下水道の適正な維持管理を図り、併せて下水道使用料に係る延滞金の徴収に関する規定及び郵政事業の民営化に伴う郵便ポストに係る占用料を定める。
議案第39号 国保松戸市立病院

院附属看護専門学校設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 県内の市立看護学校との均衡を考慮し、授業料の額を引き上げる。
議案第40号 市道路線の廃止及び認定について
 開発行為による道路の帰属等に伴い市道路線の整備を行う。
議案第41号 指定管理者の指定について(常盤平市民センターほか3市民センター)
 3市民センターの指定管理者の指定期間が平成20年3月31日をもって満了するため。
議案第42号 指定管理者の指定について(稔谷市民センター)
 松戸市稔谷市民センターの指定管理者の指定期間が平成20年3月31日をもって満了するため。
議案第43号 指定管理者の指定について(生きがい福祉センター)
 松戸市生きがい福祉センターの指定管理者の指定期間が平成20年3月31日をもって満了するため。
議案第44号 指定管理者の指定について(松戸駅東口自転車駐車場ほか53自転車駐車場)
 松戸駅東口自転車駐車場ほか53か所の自転車駐車場の指定管理者の指定期間が平成20年3月31日をもって満了するため。
議案第45号 指定管理者の指定について(常盤平駅北口第一自転車駐車場)
 常盤平駅北口第一自転車駐車場の指定管理者の指定期間が平成20年3月31日をもって満了するため。
議案第46号 松戸市議会議員の給与及び費用弁償の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 一般職の職員の手当の支給割合の改定に準じ、市議会議員の期末手当の支給割合を引き上げる。
議案第47号 特別職の職員給与及び費用弁償の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定

一般質問

12月定例会では、32人の議員が市政に関する一般質問を行いました。その中から、主な質問と答弁の内容をお知らせします。

質問 森下 彰司・杉山 由祥・中田 京・城所 正美
 木村みね子・山中 啓之・織原 正幸・飯箸 公明
 磯崎 吉弘・渋谷 剛士・名木 浩一・渡辺美喜子
 松井 貞衛・諸角 由美・佐藤 恵子・工藤 鈴子
 市川 健一・高橋 紗子・石川 龍之・宇津野史行
 高木 恵一・久保 愛子・高橋 義雄・中村多賀子
 深山 能一・桜井 秀三・本郷谷健次・二階堂 剛
 長谷川 満・伊藤余一郎・谷口 薫・大井 知敬

問 もったいないの精神でCO₂を削減し地球温暖化対策を
答 本市は「もったいない」の精神を生かしてCO₂を削減し、松戸発の地球温暖化対策を実行する。また、再資源化プラントは、市内企業団体が研究開発しており、産官の連携で新しい産業を創出し、自立した事業となることを目指している。

問 もったいない運動推進市民会議で推進重点事業に認定された「廃食油を活用したバイオ燃料化事業」への取組を伺う
答 この事業は、家庭や事業所で使用済みの「二大が油」を回収・再資源化し、軽油に代わるディーゼル燃料として活用するものである。「もったいない」の精神を生かしてCO₂を削減し、松戸発の地球温暖化対策を実行する。また、再資源化プラントは、市内企業団体が研究開発しており、産官の連携で新しい産業を創出し、自立した事業となることを目指している。

問 学校跡地の有効活用を
答 廃校跡地活用案により、旧新松戸北小学校跡地と新松戸北中学校校庭部分を売却した場合、新松戸7丁目周辺の指定避難場所が減る。地域住民から不安の声と防災倉庫等の要望があるが、旧新松戸北小学校を活用する考えは、
問 廃校跡地活用案により、旧新松戸北小学校跡地と新松戸北中学校校庭部分を売却した場合、新松戸7丁目周辺の指定避難場所が減る。地域住民から不安の声と防災倉庫等の要望があるが、旧新松戸北小学校を活用する考えは、
問 阪神・淡路大震災と同規模の地震が起きた場合、この地域の収容保護を必要とする避難者は180人と想定されるが、新松戸西小学校で約750人の収容が可能で、避難場所は10分確保されていると考える。防災倉庫は、今後モ全小中学校に順次設置していく。
問 千草葉では、地域防災計画に基づき動物保護課「ミマール」の人命救助は最優先であるが、市はペットへの対応をどう考えるか。
答 災害時のペット対策は、自答のペットは自分で守ることが原則と考えるが、共助・公助による支援の必要性も認識している。
問 災害対策での人命優先は言ってもないが、ペットを心支えたいとされる方が増えていることから、果の状況等をふまえて、関係部署、関係団体と連携を図り、災害時のペット対策の検討を深めたい。
問 現在、AEDが設置されている市立学校は、高校1か所のみである。小中学校にも早急に設置



問 在宅・長寿の我がまごづくり調査アンケート結果は
答 在宅・長寿の我がまごづくり調査アンケート結果は、認知症に対する関心の高さが明らかになった。認知症になっても安心して暮らせるまちづくりは、今後も全市の課題として取り組んでいく。また、地元ではまちづくりの気運が高まっており、東京都の「思い出ナチー」のような方法の提案も出てきている。地域が主体となつて考え、取り組むまちづくりを積極的に支援していきたい。

問 大切なペットを災害から守るために
答 災害時のペット対策は、自答のペットは自分で守ることが原則と考えるが、共助・公助による支援の必要性も認識している。

問 災害対策での人命優先は言ってもないが、ペットを心支えたいとされる方が増えていることから、果の状況等をふまえて、関係部署、関係団体と連携を図り、災害時のペット対策の検討を深めたい。
問 現在、AEDが設置されている市立学校は、高校1か所のみである。小中学校にも早急に設置

